

令和3年玄海町議会定例会6月会議会議録

招集年月日	令和3年1月7日（木曜日）						
招集場所	玄海町議会議場						
開閉会日 時 及び 宣 告	再開・開議	令和3年6月7日午前10時00分		議長	上田利治君		
	散会	令和3年6月7日午前10時21分		議長	上田利治君		
応（不応）招議員及び出席並びに欠席議員 ○ 出席 × 欠席 × 不応招 出席 9名 欠席 0名	議席番号	氏名	出席等の別	議席番号	氏名	出席等の別	
	1	小山善照君	○	2	山口寛敏君	○	
	3	宮崎吉輝君	○	4	井上正旦君	○	
	5	池田道夫君	○	6	欠番		
	7	友田国弘君	○	8	中山昭和君	○	
	9	岩下孝嗣君	○	10	上田利治君	○	
	会議録署名議員	5番	池田道夫君		4番	井上正旦君	
地方自治法第121条第1項により説明のため出席した者の職氏名	町長	脇山伸太郎君		副町長	西立也君		
	教育長	中島安行君		総務課長	平川一男君		
出席した者の職氏名	防災安全課長	加納晴美君		企画商工課長	日高大助君		
	住民課長兼会計管理者	脇山和彦君		健康福祉課長	中山ふみ君		
	農林水産課長	山口善正君		まちづくり課長	中村大造君		
	生活環境課長	鈴木博之君		教育課長	中山昌直君		
	職務のために議場に出席した者の氏名	事務局長		熊本秀樹	議会事務局主査		松本辰範

令和3年玄海町議会定例会6月会議議事日程（第1号）

令和3年6月7日 午前10時再開（開議）

- 日程1 会議録署名議員の指名について
- 日程2 会議期間の決定について
- 日程3 議長の諸報告
- 日程4 町長の行政報告
- 日程5 議案第27号 町道路線の認定について（町道諸浦有浦下線ほか）
議案第28号 町道路線の認定について（町道清水一号線）
議案第29号 玄海町奨学資金貸付条例の一部を改正する条例の制定について
議案第30号 玄海町重度心身障害者の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第31号 玄海町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
議案第32号 令和3年度玄海町一般会計補正予算（第3号）

午前10時 再開（開議）

○議長（上田利治君）

おはようございます。ただいまの出席議員は9名であります。定足数に達しておりますので、これより令和3年玄海町議会定例会6月会議を再開いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

日程に入るに先立ち、諸般の報告を職員にさせます。

○議会事務局長（熊本秀樹君）

報告いたします。

本定例会6月会議に別紙のとおり、議案第27号から議案第32号までの条例の一部改正3件、補正予算1件、その他2件、以上、議案6件。

次に、本定例会6月会議における一般質問通告者は、小山善照議員、山口寛敏議員、2名であります。

以上でございます。

○議長（上田利治君）

本日の議事日程につきましては、あらかじめお手元に配付しております議事日程表によって御了承方お願いいたします。

日程 1 会議録署名議員の指名

○議長（上田利治君）

日程 1. 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第108条の規定により、5番池田道夫君、4番井上正旦君を指名いたします。

日程 2 会議期間の決定について

○議長（上田利治君）

日程 2. 会議期間の決定についてを議題といたします。

お諮りいたします。本定例会6月会議の会議期間は、本日6月7日から15日までの9日間とし、本会議を7日、10日及び15日の3日間、委員会を11日及び14日の2日間、休会を8日から9日、12日から13日までの4日間としたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田利治君）

御異議なしと認めます。よって、本定例会6月会議の会議期間は、本日6月7日から15日までの9日間とすることに決定いたしました。

日程 3 議長の諸報告

○議長（上田利治君）

日程 3. 議長の諸報告を行います。

地方自治法第235条の2第3項の規定による監査委員からの例月現金出納検査の報告と、本年3月から5月までの玄海原子力発電所の運転状況等の報告につきましては、お手元に配付しております書類により御了承方お願いいたします。

まず、3月29日に新潟市において全国原子力発電所立地議会サミット3月会議が開催され、出席いたしました。

会議では、2月1日にウェブ会議で開催された、第12回全国原子力発電所立地議会サミットの総括があり、サミット宣言（案）が読み上げられ、宣言文が承認されました。

その後、今後の原子力発電所立地市町村議会議長会及び原子力発電所立地議会サミットの

役割と在り方について意見交換を行ったところでございます。

次に、4月14日に日本原子力産業協会主催の第54回原産年次大会がオンライン配信で開催され、岩下原子力対策特別委員長及び脇山町長とともにオンラインによる視聴で参加いたしました。詳細につきましては、後ほど町長から報告があると思いますので、省略いたします。

次に、5月25日に佐賀県町村議会議長会及び臨時総会が佐賀市で開催され、出席いたしました。

議長会では臨時総会の付議事項を協議し、その後、佐賀県市町総合事務組合議会議員選出が行われ、有田町の松尾議長と私が選任されました。

議長会後に臨時総会が開催され、任期満了に伴う役員改選が行われました。会長には有田町の松尾議長、副会長には私と太良町の坂口議長、監事に江北町の西原議長、白石町の片渕議長が選任されました。

次に、5月27日に全国原子力発電所立地市町村議会議長会役員会がウェブ会議で開催され、参加いたしました。

会議では、原子力発電所立地市町村議会議長会及び原子力発電所立地議会サミットの今後の在り方について意見交換を行ったところでございます。

以上をもちまして、議長の諸報告を終わります。

日程4 町長の行政報告

○議長（上田利治君）

日程4. 町長の行政報告を求めます。脇山町長。

○町長（脇山伸太郎君）

おはようございます。本日は議案を提出しましたところ、令和3年玄海町議会定例会6月会議を開催いただきまして、誠にありがとうございます。

それでは、3月会議以降、今日までの主なものについて行政報告を申し上げます。

まず、4月5日、町民会館において玄海町ゲートボール協会総会が開催され、来賓として出席いたしました。

総会では3議案について審議され、全て原案どおり可決されました。

ゲートボールは生涯スポーツであり、より豊かな生活の生きがいくりのため、これからもゲートボールの輪を広めていただければと思います。

次に、4月7日、佐賀市において町長例会が開催され、出席いたしました。

主な協議事項として、各種審議会等委員の推薦や令和3年度市町職員研修計画などについて協議を行いました。

次に、4月8日、佐賀県立唐津青翔高等学校において入学式が開催され、来賓として出席いたしました。本年度は73名の生徒が入学されました。高校生活では勉学のみならず、部活動、社会活動を通じて、将来の夢や目標に向かっていただきたいと思います。

次に、4月13日から14日にかけて日本原子力産業協会主催の第54回原産年次大会が東京国際フォーラムからのオンライン配信で開催され、上田議長、岩下原子力対策特別委員長とともに、オンラインによる視聴で参加いたしました。

本大会は、エネルギー、原子力の利用上の問題等について重要な課題とその解決策を見出すための指針を得るとともに、原子力利用の進め方に関し、国民の理解促進に資することを目的に毎年開催されております。

本大会においては、原子力発電所事故から10年が経過した福島原子力発電所の現状と福島の復興を展望するとともに、脱炭素社会に向けた課題や日本が持つべきエネルギービジョンなどをテーマに、講演やパネルディスカッションが行われました。

原子力に関しては、安全性をより向上させるとともに、安定的な運転を継続するための技術開発を進め、脱炭素社会を実現するためにも原子力の利用を進めるべきとの論調が多く、今後の原子力政策を考える上で、大変参考になる内容でありました。

次に、4月15日、唐津市において上場土地改良区理事会が開催され、出席いたしました。

理事会では理事長及び副理事長の協議を行い、理事長に唐津市の峰市長、副理事長に私とJAからつの松本代表理事副組合長が選任されました。

また、4議案について審議し、全て原案どおり可決しました。

次に、4月19日、佐賀市においてGM21が開催され、出席いたしました。

まず、新型コロナウイルス感染症の現在の状況及びワクチン接種について意見交換を行いました。

次に、自治体における進化したIT技術の導入について意見交換を行いました。

IT技術の進化により、定例的な業務をコンピューターによる作業に置き換えるということで事業作業の効率化を図り、住民サービスの向上につなげることが期待されています。

現在の取組状況について、本町では一部の業務で導入や試行を行っています。

次に、4月20日、唐津市においてJAからつ果樹部会総代会が開催され、来賓として出席

いたしました。

総代会では4議案について審議され、全て原案どおり可決されました。

新型コロナウイルス感染症や集中豪雨などの自然災害による影響が見られるが、時代のニーズに合った生産に取り組み、消費者に信頼される産地づくりを目指すことが確認されました。

次に、4月21日、佐賀市において令和3年度佐賀県農業信用基金協会第1回理事会が開催され、出席いたしました。

理事会では令和2年度決算をはじめ3議案について審議し、全て原案のとおり可決いたしました。

次に、4月22日、全国原子力発電所所在市町村協議会の役員会がウェブ会議の形式で開催され、参加いたしました。

会議では、本年度の総会の開催方法や令和2年度の事業報告と収支決算及び令和3年度の事業計画と収支予算に関する議論を行い、総会の開催に関しては書面議決による実施となりました。また、第6次エネルギー基本計画に対する国への要請内容に関しても検討を行い、計画における原子力の在り方を明確にすることや核燃料サイクル政策と高レベル放射性廃棄物の最終処分について、将来に向けた展望を明らかにするとともに、その安全性や必要性に対する国民理解を進めることなど、4つの要請を取りまとめました。本来であれば、経済産業大臣や自民党の国会議員に対し、役員一同で直接要請すべきところではありますが、今回はコロナ禍ということもあり、郵送による要請書の提出をもって要請活動を行いました。

次に、5月7日、佐賀市において町長例会が開催され、出席いたしました。

町村会役員の改選により、会長には白石町の田島町長、副会長には上峰町の武廣町長が選任されました。

また、災害対策基本法等の一部改正に伴い、避難指示に関する見直しがされたことなどの報告が行われました。

次に、5月9日、玄海町において聖火リレーが開催されました。

本町では、浜野浦の棚田がコースとして設定され、6名のランナーにより無事に聖火をつなぐことができました。浜野浦の棚田が舞台となったため、公道とは違い、田んぼに囲まれた農道など、自然の中を各ランナーが駆け上がりました。ゴールの展望台では、棚田と海をバックに感動的なシーンとなりました。

聖火リレーの様子は全世界に向けて発信されており、本町のPRにも大きく貢献したこと
と思います。

以上で行政報告を終わります。

- 日程5 議案第27号 町道路線の認定について（町道諸浦有浦下線ほか）
議案第28号 町道路線の認定について（町道清水一号線）
議案第29号 玄海町奨学資金貸付条例の一部を改正する条例の制定に
ついて
議案第30号 玄海町重度心身障害者の医療費の助成に関する条例の一
部を改正する条例の制定について
議案第31号 玄海町介護保険条例の一部を改正する条例の制定につい
て
議案第32号 令和3年度玄海町一般会計補正予算（第3号）

○議長（上田利治君）

日程5. 議案第27号 町道路線の認定について（町道諸浦有浦下線ほか）から議案第32号
令和3年度玄海町一般会計補正予算（第3号）までの以上6件を一括議題といたします。
提案理由の説明を求めます。脇山町長。

○町長（脇山伸太郎君）

それでは、提案しております議案について提案理由の説明を申し上げます。

条例の一部改正が3件、令和3年度会計の補正予算が1件、その他議案が2件、合わせて
6件でございます。

議案番号順に申し上げます。

まず、議案第27号 町道路線の認定につきまして、提案理由の御説明を申し上げます。

県道加倉仮屋港線及び県道肥前呼子線の道路改良により生じた旧道を町へ移管するため、
新たに町道諸浦長倉線、町道諸浦有浦下線、町道有浦上新田線、町道犬吠線として路線の認
定を行うものでございます。

次に、議案第28号 町道路線の認定につきまして、提案理由の御説明を申し上げます。

地域住民の利便性を図るため、町道石田線から町道清水線へつながる本路線を新たに町道
清水一号線として路線の認定を行うものでございます。

次に、議案第29号 玄海町奨学資金貸付条例の一部を改正する条例の制定につきまして、

御説明を申し上げます。

奨学資金の専門学校生の貸付額を大学生と同額とすること及び学校の種類により異なる償還の開始時期を統一するため、本条例を改正するものでございます。

次に、議案第30号 玄海町重度心身障害者の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定につきまして、御説明を申し上げます。

これまで本条例の対象とされていなかった重度精神障害者を新たに助成対象とするため、本条例を改正するものでございます。

次に、議案第31号 玄海町介護保険条例の一部を改正する条例の制定につきまして、御説明を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策による介護保険料の減免に対する財政支援が令和3年度も継続されることに伴い、引き続き介護保険料の減免を行うため、本条例を改正するものでございます。

次に、補正予算でございますが、議案第32号 令和3年度玄海町一般会計補正予算（第3号）は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ102,976千円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額を8,159,776千円とするものでございます。

歳入補正予算の主なものとしましては、14款国庫支出金、2項国庫補助金、1目総務費国庫補助金11,532千円の増額は、新型コロナウイルス感染拡大により大きな影響を受けました地域経済や住民生活を支援する目的のもと、地方創生に取り組む事業に対し、補助を受けるものでございます。

同じく2目民生費国庫補助金7,419千円の増額は、全国で実施される給付事業で、新型コロナウイルス感染症による家計への影響を踏まえ、子育て世帯を支援するため、国の補助金が10分の10交付されるものでございます。

同じく6目衛生費国庫補助金10,043千円の増額は、新型コロナウイルスワクチン接種に係る事業費に補助を受けるものでございます。

次に、18款繰入金、2項基金繰入金、8目ふるさと応援寄附金基金繰入金64,601千円の主なものは、14款で説明しました地方創生に取り組む事業に対し、本基金を活用するものでございます。

次に、歳出補正予算の主なものを御説明いたしますが、そのほか、新型コロナウイルスワクチン対策及び人事管理経費等の補正を行っております。

まず、3款民生費、2項児童福祉費、1目児童福祉総務費、ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯生活支援給付金事業7,419千円の増額は、低所得のふたり親世帯や家計急変者などに給付金を支給するものでございます。

次に、4款衛生費、1項保健衛生費、1目保健衛生総務費、保健衛生一般経費10,000千円の増額は、唐津赤十字病院の放射線治療装置の更新に対し、補助金を交付するものでございます。

次に、6款農林水産業費、1項農業費、3目農業振興費28,500千円、4目畜産業費10,500千円、3項水産業費、2目水産業振興費15,000千円、7款商工費、1項商工費、2目商工振興費26,557千円、合わせて80,557千円の産業持続化支援事業の増額は、地方創生に取り組む事業として、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経営が悪化した農業や漁業、商工業事業者に対し、支援を行うものでございます。

次に、8款土木費、4項住宅費、1目住宅管理費、定住促進事業43,066千円の減額は、宅地の造成と分譲について本町の事情に即した官民連携の方法などを検証するため、支援業務委託料を今回の補正予算に計上し、当初予定していた測量・調査委託等を次年度以降に延期するため、減額するものでございます。

最後になりますが、皆様のお手元に議案とともに繰越明許費の報告を配付させていただいております。

地域防災対策事業と施設維持管理経費の2件を令和3年度に繰り越しましたので、地方自治法施行令第146条第2項の規定により、御報告申し上げます。

以上、今定例会に提出しております各議案について、提案の理由を申し上げましたが、どうか御審議の上、原案どおりの御決定をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

○議長（上田利治君）

ここでお諮りいたします。本件につきましては、予算特別委員会に付託して審議したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田利治君）

御異議なしと認めます。よって、議案第27号 町道路線の認定について（町道諸浦有浦下線ほか）から議案第32号 令和3年度玄海町一般会計補正予算（第3号）までの以上6件につきましては、予算特別委員会に付託して審議することに決定いたしました。

以上をもって本日の議事日程は全部終了いたしました。よって、本日の会議はこれにて散会いたします。お疲れさまでした。

午前10時21分 散会